※令和４年度以降入学生用

学校番号	3034

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）音楽特講	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	高校生のための音楽研究ノート　（教育芸術社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

茨木高校音楽会の企画･運営に携わりながら音楽について深く学んでいきます。音楽会では1.2年生合同演奏の「第九」で総勢 320 人をまとめ、クラスとして上演するミュージカルでは約 40 分の企画を考え、作曲発表ではグループによる自作自演、と茨木高校の特色を活かした音楽会を創っていきたいと思います。

２　学習の到達目標

・音楽会を企画・運営することにより、コンサートを裏方として支えるための知識技能の習得。ミュージカルを通して舞台芸術の基礎を学び、作曲では創作の基礎を学ぶ。

・音楽作品についての深い思索と理解を促し、聴衆の心に届く演奏を目指し、表現力を鍛えることを目標とする。

・一つのものを創り上げていく過程において必要な主体性や協調性を身につけ、ステージでの経験を通して、感性豊かな人間の育成を目標とする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらその良さや美しさ自ら味わって聴いたりしている。	音楽会に向けての活動を通して、互いの意見を尊重しながら主体的･協働的に取り組み、音楽への深い学びに繋げようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2年前期	音楽会に向けて①	音楽会・役割分担 ミュージカル演目決定	a:　ミュージカルを紹介するために必要なプレゼンテーション技能を身に付けている。 b: ミュージカルを紹介するスライドやプリントの作成を通して、自らの情報を適切に選択し、表現する力を身に付けている。 c: 身近な人と協働し、互いを尊重し、振りかえり、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート レポート	ワークシート レポート	授業観察 振りかえり 相互評価 発表
		歌唱 （ミュージカルより）	a:声楽の基本的な奏法を理解し、演奏する技術を身に付けている。 b: 声楽の演奏やミュージカルに関する知識や技能を得たり意識したりしながら、その関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を工夫している。 c 他者との調和を意識し、創意工夫して主体的・協働的に歌唱で表現する学習活動に取り組もうとしている。	パフォーマンス課題	パフォーマンス課題	ワークシート
		作曲 楽典 グループ課題	a：楽典を通して作曲の基礎的な知識を習得し、曲を作る技術を身に付けている。 b: 楽典で得た知識を元に、楽曲について考え、自己のイメージをもって表現を工夫している。 c 他者との調和を意識し、創意工夫して主体的・協働的に表現する学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート レポート 筆記試験	ワークシート レポート	授業観察 振りかえり 自己評価 相互評価 発表

※令和４年度以降入学生用

２年後期	音楽会に向けて②	ミュージカル練習 キャスト決定 台本読み・音楽練習	a:ミュージカルの基本的な歌唱法を理解し、演奏する技術を身に付けている。 b: ミュージカルでの役について、自分が演ずるキャストについて深く考え、自己のイメージをもって表現を工夫している。 C：他者との調和を意識し、創意工夫して主体的･協働的にミュージカルで表現する学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート
		作曲 作品発表	a:作曲の基礎的な知識を習得し、自分で作った曲を表現する技術を身に付けている。 b: 自ら作った楽曲について考え、自己のイメージをもって表現を工夫している。 C：他者との調和を意識し、創意工夫して主体的･協働的に表現する学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品演奏	ワークシート 作品演奏	授業観察 振りかえり 自己評価 相互評価 発表
	音楽会	音楽会運営と発表 音楽会（3月上旬） 立命館いばらきフューチャープラザグランドホール ミュージカル・作曲発表 「第九」演奏 相互鑑賞	a：創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、ミュージカル、創作で表している。 b:自らが得た知識や技術を元に創造的な表現へと工夫している。 C：他者との調和を意識し、創意工夫して主体的･協働的に表現する学習活動に取り組もうとしている。他者の演奏から音楽の表現方法や内容について深く考え、感じ取ろうとしているか。	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	振りかえり 自己評価 相互評価 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度